令和6年度 第2回鹿角市地域公共交通活性化協議会 議事録

開催日時 令和6年9月24日(火) 13時30分～14時00分

開催場所 鹿角市役所 第1～2会議室

出席委員 委員数20名中17名(うち代理出席3名)

- 協議内容
1. 開会
 2. 会長あいさつ
 3. 議事
 - (1) 令和6年度鹿角市地域公共交通活性化協議会会計補正予算について(資料1)
 - (2) 八幡平地区における路線の再編について(資料2)
 4. その他
 5. 閉会

司会

ただいまより令和6年度第2回、鹿角市地域公共交通活性化協議会を開催いたします。
本日はお忙しいところお集まりいただきまして誠にありがとうございます。会議に入ります前に、出席者について変更がありましたのでお知らせいたします。委員名簿4番の地域振興局建設部小林委員より、急遽欠席のご連絡をいただいております。また、8番の十和田タクシー様ですがオブザーバーとして田口所長よりご出席いただいております。
本日の会議は、委員20名中、代理を含む17名のご出席をいただいておりますので、本協議会設置要綱第6条第2項に規定する過半数の出席を満たしており、本日開催の協議会が成立することをご報告申し上げます。
また本日は、行政視察として東成瀬村様より同席いただいておりますので、よろしくお願いたします。

司会

それでは、お手元の次第に沿って進めさせていただきます。次第の2会長あいさつについて、本協議会の会長であります舛屋副市長よりごあいさつを申し上げます。

会長

本日はお忙しいところご出席いただきありがとうございます。委員の皆様には、日ごろから公共交通の維持発展にご協力いただきますとともに、市政各般にわたりましてご理解とご協力をいただいておりますことに感謝申し上げます。
公共交通については、市民の日常生活の足として欠かせない移動手段ということではありますが、人口減少や自家用車の普及などによる利用者の減少に加え、昨今はバスの運転手不足といったこともあり、維持については難しい状況になっております。また高齢ドライバーによる事故や、ペダルの踏み間違い、それから高速道路の逆走といった痛ましい事故が報道されております。

市といたしましては、高齢者が自家用車に依存せず安心して暮らし続けられるよう、今年度、路線バスフリー定期券の補助を始め、交通弱者対策の補助率の引き上げを行うなど、市民の移動の負担軽減と公共交通の利用促進に努めているところでございます。

引き続き、社会経済情勢の変化に対応して、あらゆる視点から公共交通のあり方につきまして議論を進めたいと考えておりますので、委員の皆様におかれまして何かとご難儀おかけいたしますけれども、今後ともお力添えを賜りますようお願いいたします。

本日は令和6年度の補正予算並びに八幡平地区における路線の整備再編についての協議を行うことを予定しております。鹿角市の公共交通がより良い方向に発展していきますように、忌憚のないご意見やご提言を賜りますようお願い申し上げます、開会のあいさつといたします。本日はよろしくお願いいたします。

司会

ありがとうございました。

ここからの進行は、協議会設置要綱第6条第1項の規定に基づきまして、会長が議長を執り行うこととなっております。以降の進行について、よろしくお願いいたします。

会長

議事に入ります。

次第の(1)令和6年度鹿角市地域公共交通活性化協議会会計補正予算案について、事務局より説明をお願いします。

事務局

(資料に沿って説明)

会長

ありがとうございました。

ただいまの説明につきまして、ご意見ご質問等ありましたらご発言願います。

(質問等なし)

会長

特にないようですので、令和6年度鹿角市地域公共交通活性化協議会会計補正予算につきまして、承認してよろしいでしょうか。

(異議なしの声あり)

会長

それでは補正予算につきましては承認といたします。

続きまして、(2)の八幡平地区の路線の再編につきまして、事務局から説明をお願いいたします。

事務局

(資料に沿って説明)

会長 ありがとうございます。

 それではただいま説明がありました八幡平地区の路線の再編につきましてご質問ご意見等ありましたらご発言願います。

金澤委員 自家用有償旅客運送制度により、今年度、志張温泉から八幡平山頂間においてドラゴン号を運行しております。運行している NPO 法人より、想定よりも利用が伸びており、山頂から温泉宿までの移動希望者や既存の志張線との接続により、利用者が増えていると伺っており、新たな需要の掘り起こしに繋がっていると捉えているところです。田沢湖線は継続されるようですが、今回の再編で志張線はなくなるということで、ドラゴン号との結節ポイントはどこになるのか。今後の構築具合によるのか、それとも八幡平市民センターになるのか。地域住民とは違った観光客の足ということではあるが、どうか再編に当たってはそうした点へのご配慮や我々の方との調整をしていただきたいと思います。

事務局 対象が、地域住民か観光客かで住み分けしている状態ですが、できるだけ地域の活性化に繋がるよう、協力できるような交通システムを作っていければと考えております。仮に市民センターに結節点を設けるということも可能でしょうか。

金澤委員 制度上、詳しく調べる必要があると思いますが、八幡平市民センターが結節点となった場合に、NPO 法人において、運転手と運送車両の両方を増やさなければいけないかと思っておりますので、そういった調整もしていく必要があると思っております。

事務局 今後ともいろいろと協議させていただければと思います。よろしく申し上げます。

会長 他にございますか。

奈良委員 一点、あんしん長寿課ですが、今年からたんぼ KOMACHI パス（路線バスフリー定期券）を設けていただいたので、高齢者の移動に関して非常に助かっているところです。路線の再編により、路線バスフリー定期券の使用方法等はどうか、教えていただければと思います。

事務局 今回、路線の再編については、循環バスとデマンド交通の組み合わせの方向で検討をしております。循環バスについては、現在八幡平地区にて路線バスを運行していただいている秋北バス(株)であればノウハウ等がございますので、秋北バス(株)へ運行を委託するような形で実現できればと考えているところです。また、仮に秋北バス(株)へ委託運行した場合、循環バスについては路線バスフリー定期券が継続して使用できると考えておりますが、八幡平市民センター以南のデマンド交通部分に関しては、別途料金が発生いたしますので、今後はその負担をどのようにしていくのかを検討していかなければならないと考えております。

奈良委員 可能であれば、利用者負担がないようにしていただければと思います。よろしくお願
いします。

事務局 今回の路線バスフリー定期券により、利用者負担はかなり低くはなっておりますが、そ
ういった面も加味しながら今後検討させていただきたいと思
います。

会長 そのほか何かございませんか。いずれ、今後システムを設計していくことになりま
すので、今時点において何かご意見あればそれを参考にして行くことになると思
います。今の時点でご意見がなくても、後ほど気づいた点があれば、事務局へ要望等を出していただ
ければと思います。話がまとまってからでは、要望を出されても変更は厳しいと思
いますので、早いうちに出していただければと思います。

会長 事務局は検討状況など、その都度情報を出せるものでしょうか。

事務局 随時、出せる情報を判断するとともに、交通事業者とワーキンググループを開催しな
がら検討を進めていきたいと思っております。

会長 関係機関と連携しながら進めていただければと思います。今時点で決まっていないもの
もあるところではありますが、八幡平地区の路線の再編につきましては、今後、地域住民
への丁寧な説明に配慮していただきますとともに、委員の皆様からも引き続きご意見、ご
要望等を出していただき、ご協力をお願いしたいと思います。

会長 それでは、本日の案件はこれにて終了いたしました。次に次第の4 その他ですが、委員
の皆様から情報提供等ございましたら、お願いいたします。

棚谷委員 秋北バスの棚谷でございます。新聞報道でご存知かと思いますが、一般路線バスにつき
まして、10月1日に運賃の改定を行うことになりました。路線バスの運賃につきま
しては、平成9年に消費税分を上乗せした以降、消費税の添加以外は値上げをしてきてはおり
ませんでした。人件費や燃料費等、物価が値上がっており、かねてより国土交通省東北
運輸局へ申請しておりましたところ、この度、認可を受け実施の運びになりましたので、
この場をお借りしてお話させていただきます。なお、初乗り運賃これまでの160円が200
円となります。その他の区間については区間に応じた変更となります。

会長 ありがとうございます。他にございますか。

(なしとの声あり)

会長 それでは、事務局よりお願いいたします。

事務局

先ほどお話に出ました路線バスフリー定期券につきまして、今年度の状況をお知らせいたします。4月から8月までの5か月間で延べ197名、助成額は200万弱であります。今後も助成を継続していくにあたり、当初見込んでおりました400万の予算額では若干不足の見込みと予想しております。来年度も助成事業を継続していきたいと思っておりますので、ぜひご利用いただきたくよろしく願いいたします。

また、今年度は、新たに公共交通資格取得助成金といたしまして、第二種運転免許の取得費用に対する助成も始めており、まだ申請までは至りませんが、1件の相談を受けておりますことをお知らせいたします。

加えて、鹿角高校スクール線についてですが、こちらも4月より花輪駅前から鹿角高校までの運行に対し市の助成事業を始めましたところ、この路線については小坂線の接続延長ということもあり、小坂町在住の高校生より毎朝多数乗っていただいている状況がございます。11月からの運行につきまして秋北バス(株)と協議し、高校からの要望もありましたことから、鹿角花輪駅から高校までの区間について、朝一便を増便して対応したいと考えております。こちらについても当初は利用者がこれほどのいるとは想定できませんでした。が、高校生のほか一般の方にもご利用していただいている状況でありますことをご報告いたします。

会長

ありがとうございます。鹿角高校は、鹿角・小坂地区の統合校として誕生したものの、鹿角高校行きの路線バスがなくなるとはいけないということで、予算を組み運行実施したところですが、利用者が多く好調のようですので引き続き実施をしていきたいと思っております。

今年度の予算が足りなくなる見込みのものについては、今後、補正予算等で増額対応していくということでしょうか。

事務局

12月補正などで対応して参りたいと思います。

会長

はい、わかりました。その他に何かございますでしょうか。

ないようであれば、本日の議事はこれで全て終了とし、事務局へお返しいたします。

事務局

ご協議いただきありがとうございます。以上をもちまして、令和6年度第2回鹿角市地域公共交通活性化協議会を終了いたします。本日は誠にありがとうございました。